

解答

【一】

- 問一 A かみなり B あせ水 C 助け船
- 問二 a まったくわからなかった
b 評価が良く
- 問三 1 ウ 2 ア 3 オ 4 イ 5 エ
- 問四 成績が悪いから仕方なくトラック運転手になったという好ましくない感じ
- 問五 怒り
- 問六 イ
- 問七 ● 大したことない(もの)
● 特段うれしくない(もの)
- 問八 高村の役に立ち、感謝されるという仕事をして稼いだお金であり、大切に感じたから。
- 問九 高村に対して持っていた印象が変わったから。
- 問十 ① 操作 ② 勤〔める〕 ③ 包装 ④ 浴〔びて〕 ⑤ 導〔き〕

【二】

- 問一 エ
- 問二 A ア
B エ
- 問三 1 核兵器を使用すること
2 紛争を外交
- 問四 1 原爆投下を肯定する人
2 原爆投下をした米国の大統領は、謝罪するのでもなければ来てほしくないと考えるから。
3 初め : オバマは最初に
終わり : ぐさをみせた。

- 問五 イ
- 問六 相手に与える被害の大きさを考えるべきで、自分たちの事だけを考えて行動してはいけないということ。
- 問七 ウ・オ
- 問八 ① 首脳 ② 従〔った〕 ③ 一帯 ④ 準備 ⑤ 敬意

解説

【一】

問九 父の影響を受け、トラックの運転手をしている高村のことを最初は「好ましくない」はずだと思っていた大介は、高村から仕事をすることの意味や、どんな仕事も等しく尊いということを学ぶうち、高村に対して持っていたイメージが変化していき、見える「気配の色」が変わっていったと考えることができます。

【二】

問六 紛争の当事者は、どうしても自分たちの事しか考えずに「独りよがり」になるものですが、相手に与える被害の大きさ、その悲惨さを想像するべきで、自分たちのことだけを考えて行動してはいけないということを言っていると考えることができます。